

大学祭で人力飛行機展示



広島工業大

耐荷重を実証する試験も



耐荷重の試験を公開する人力飛行機部の部員

出展された鳥人間コンテストでの使用機体

キャンパスリポーター発



2年

高田晴行

広島工業大(広島市佐伯区)で2年ぶりの大学祭「工大祭」があった。鳥人間コンテスト出場を目指す人力飛行機部「HIT Sky Project」が機体などを展示した。

機体を支えるカーボン製の桁に、飛ぶときの荷重を加え、耐えられることを実証する強度試験を公開。2017年の鳥人間コンテストに初出場した時の使用機体も出展され、来訪者はその大きさに驚いていた。

生にとつては初めての体験。知能機械工学科1年の林果穂さん(18)は「思っていたより繊細な工程が多く大変だったが、やりがいがあった」と話していた。顧問の宇都宮浩司准教授(57)は「本物の機体の組み立てや修復作業は、学生たちの良い勉強になったと思う。今後の活動に生かしてほしい」と期待していた。

新型コロナウイルスの影響で、こうした展示を昨年度はできなかったため、1、2年